



【問い合わせ先】

警備救難部救難課長 森本 和博
電話 045-211-1118 (内線 3250)

平成19年10月19日
14時00分発表
第三管区海上保安本部

命を守るライフジャケット着用体験会の開催について

釣りシーズン最盛期における安全啓発活動の一環として、遊漁船船長を対象とした「命を守るライフジャケット着用体験会」を開催します。

1 体験会の概要

体験会は、遊漁船船長が着衣で水槽に入り、ライフジャケットの有効性について身をもって体感することにより、遊漁船船長の安全意識の向上を図るとともに、釣り客へライフジャケットの着用を推進して頂こうというものです。

また、体験会の状況を釣りジャーナリスト協議会などのジャーナリストが取材して、釣り新聞や釣り雑誌などへ記事を掲載して頂くことにより、釣り愛好者に対しメディアを通してライフジャケットの着用を呼びかけ、死亡・行方不明者の減少を図ることを目的としております。

2 実施日時

平成19年11月1日(木) 午後1時00分～午後4時00分

3 実施場所

横浜海上防災基地 訓練水槽
神奈川県横浜市中区新港1-2-1

4 体験者

釣りジャーナリスト協議会推薦による遊漁船船長 12名予定

5 実施内容

(1) 遊漁船・釣り愛好者の事故分析結果の説明

(2) 着衣状態(ライフジャケット非着用)での入水体験

服を着た状態で、浮いて救助を待つ場合の姿勢(浮き身)や水中における動きづらさを体験

① 造波・送風なし

② 造波・送風あり

(3) ライフジャケットの正しい装着法

① 固形式ライフジャケット

② 膨張式ライフジャケット

(4) 着衣状態(ライフジャケット着用)での入水体験

固形式、膨張式ライフジャケットを着用し、如何に安全に浮いていることができるかを体験

① 造波・送風なし

② 造波・送風あり

(5) 身近なものによる浮力体験

ペットボトルやクーラーボックス等を、ライフジャケット未着用の体験者目掛けて投げ入れ、体験者が当該物品を掴み浮力を体験

6 本体験会の取材について

別紙1のとおり

命を守るライフジャケット着用体験会の取材について

体験会の取材について次のとおりご案内しますので、希望される方は申込書(別紙2)に記入のうえ、10月29日(月)正午までにFAXにてお申し込み下さい。

また、記者が水槽へ入水しての体験取材(午後3時30分～午後4時)も可能としておりますが、人数の調整をさせて頂く場合があります。

【集合日時】 平成19年11月1日(木) 午後1時00分

【集合場所】 神奈川県横浜市中区新港町1丁目2番1号

横浜海上防災基地エントランスホール

【スケジュール】

午後1時 集合

午後1時10分 体験会開始

体験会説明

遊漁船・釣り愛好者の事故分析結果の説明

午後2時 ライフジャケット非着用での入水体験

午後2時30分 ライフジャケット着用での入水体験

午後3時 身近なものによる浮力体験

午後3時30分 【体験取材時間 約30分】

午後4時 体験会終了

【その他】

- (1) 業務上の都合により、体験会を中止させていただく場合があります。なお、中止の際には、取材申込書にあります連絡先に事前にご連絡します。
- (2) 横浜海上防災基地には駐車場はありますが、数に限りがありますので、赤レンガ倉庫駐車場などの近隣の駐車場を利用して下さい。
- (3) 許可された場所以外での撮影は禁止します。
- (4) 体験を希望される方は、水着・着替え・タオル等を準備して下さい。また、プールに入水する際の着衣・靴はきれいなものを使用して下さい。

命を守るライフジャケット着用体験会取材申込書

報道機関名	
参加者氏名	
連絡先 (携帯電話等)	
体験取材 希望の有無	有 無 (希望の有無に○をお願いします。)

申込先

第三管区海上保安本部

総務部 総務課 広報・地域連携室

電話 045-211-1118(内線2117または2118)

FAX 045-201-7045

愛します! 守ります! 日本の海

